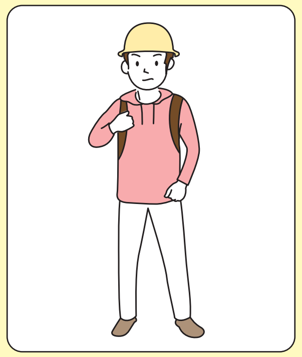
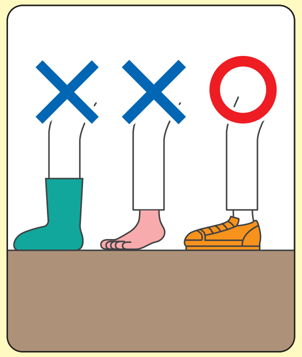
防災上最低限知っていただきたい知識

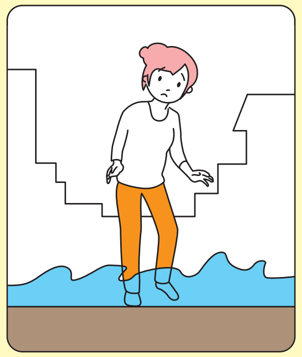
避難をする時の心得（洪水時）



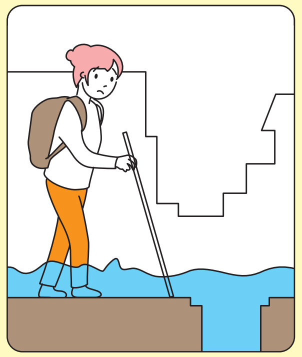
動きやすい服装で、必要最小限の荷物で避難しましょう。



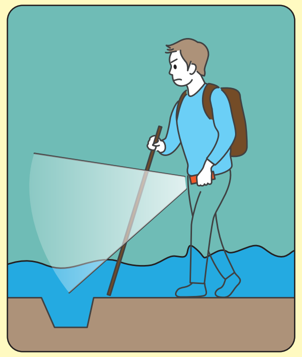
歩きやすい「はき物」をはきましょう。長靴は、水が入ると重くなるのでやめましょう。



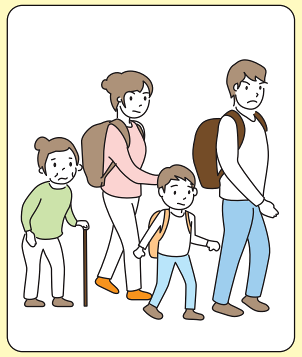
歩いて避難できる深さは、ひざ下程度といわれています。ただし、流れによっては足をすくわれる危険性があります。



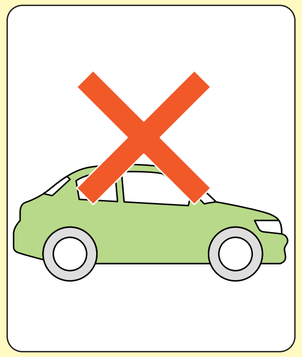
地面が見えにくくなり、マンホールや水路等に落ちてしまう危険性があります。棒を使い、足元に注意して歩きましょう。



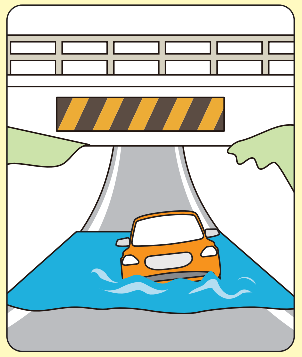
夜間の避難は、周りの状況が確認しにくく、非常に危険です。可能な限り暗くなる前に避難しましょう。



子どもや高齢者の避難を手助けしましょう。
（早めの避難が大切です。）



車での避難は控え、徒歩で避難しましょう。車は浸水すると故障し、緊急車両の通行の妨げになる可能性があります。

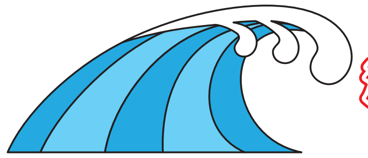


地下道（アンダーパス）には、水が溜まっている危険性があります。違うルートを通りましょう。

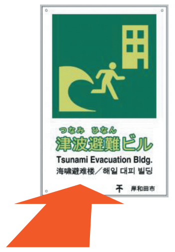
津波発生時の心得

南海トラフ巨大地震が発生すると、岸和田市内の地震動は最大震度6弱、津波は地震発生後約93分で最高4.4mの津波が到達すると想定されています。テレビやラジオ等の情報に注意し、**南海本線より東側（山側）へ**徒歩で避難しましょう。また、津波は何度も押し寄せてきます。水が引いても安全が確認できるまで避難場所等に留まりましょう。

❶地震の揺れを感じたら津波に注意！
❷テレビ・ラジオや岸和田市の広報で正しい情報を！
❸避難情報が出たらすぐに避難！
❹避難は徒歩で！
❺海岸や川には近づかない！
❻地域での協力が大切です！
❼高齢者や身体の不自由な方等の避難に協力を
❽水が引いても安全が確認できるまで戻らない



津波注意!


つなみ ひなん
津波避難ビル
Tsunami Evacuation Bldg.
海啸避难楼／해일 대피 빌딩
岸和田市

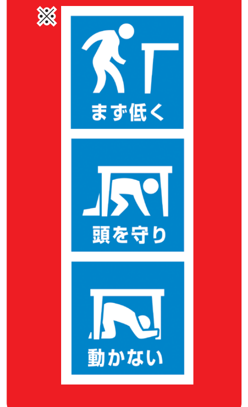
地震発生時の行動

地震から身を守るポイントは、いつ地震が発生してもあわてないように、日頃から地震時の備えをしておくことです。ここに示す地震時の行動を参考に、どのような行動を取るべきか覚えておきましょう。

緊急地震速報！

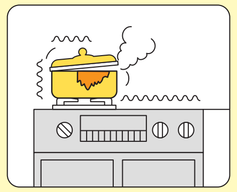
地震発生

身の安全を確保！


※
まず低く
頭を守り
動かない

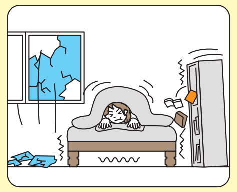
家の中では

料理中なら



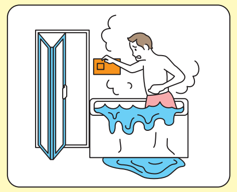
まず身を守り、落ち着いたら火を消しましょう。

寝ていたら



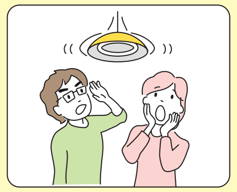
布団や枕で頭を守り、家具が倒れてこないところに身を伏せましょう。

入浴中なら



あわてて飛び出さず、ドアや窓を開けて出口を確保しましょう。

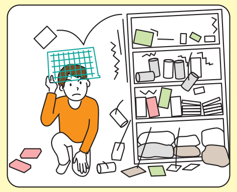
TV を見ていたら



重い家具の近く、電灯の真下等から離れましょう。

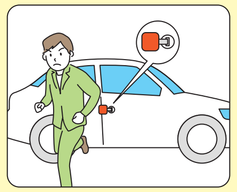
家の外では

買い物中なら



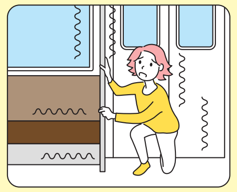
買い物カゴや鞄で頭を守り、店員の指示に従いましょう。

車の運転中なら



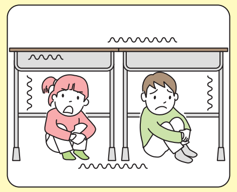
道路の左に寄せて止め、ドアはロックせずにキーを置いたまま避難しましょう。

電車に乗っていたら



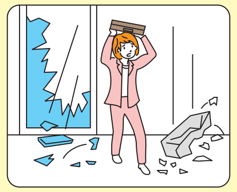
吊革や手すりにつかまり、体が放り出されないようにしましょう。

仕事・授業中なら



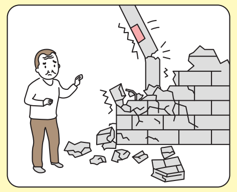
本棚やロッカーが倒れたり、窓ガラスが割れたりするので注意しましょう。

ビル街を歩いていたら



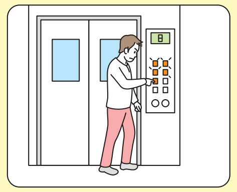
ガラスの破片、看板等に注意しながら近くの安全な場所に避難しましょう。

住宅地を歩いていたら



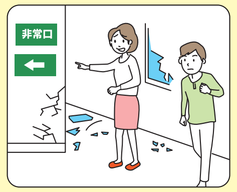
ブロック塀・門柱の転倒、ガラス・瓦の落下、切れた電線に注意しましょう。

エレベーターの中にいたら



すべての階のボタンを押し、動かないなら非常用連絡ボタンを押しましょう。

地下街にいたら



停電になっても誘導灯がつくので、落ち着いて係員の指示に従いましょう。

１分～３分
火の元・家族の安全を確認
●火の元の確認・初期消火
●靴をはく（ガラスの破片等から足を守ります）
●出口を確保
●非常持出品の用意を！ガスの元栓・電気のブレーカーを切る！

３分～５分
正しい情報を得る
●テレビ・ラジオ等で正しい情報を確認！

５分～数時間
状況に応じて冷静に対応
●隣近所の安否確認
●各町内会、自治会で安否確認
●地域ぐるみで協力し合って救急、救護、初期消火

同程度の地震に注意！「地震がおさまったからもう大丈夫！」と安心せずに、二次災害に備えることが大切です。

※提供　効果的な防災訓練と防災啓発提唱会議